

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

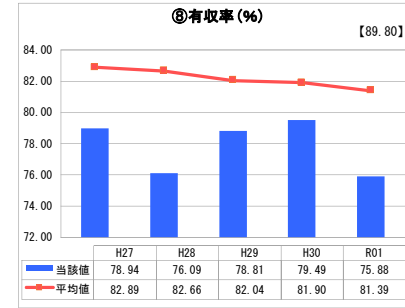
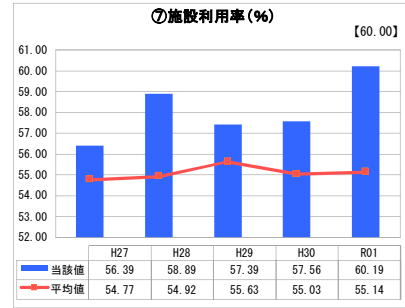
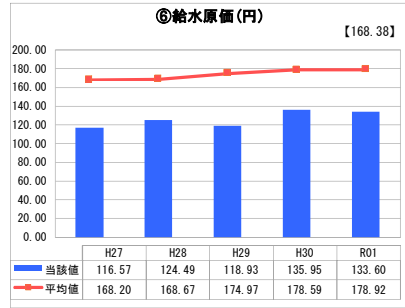
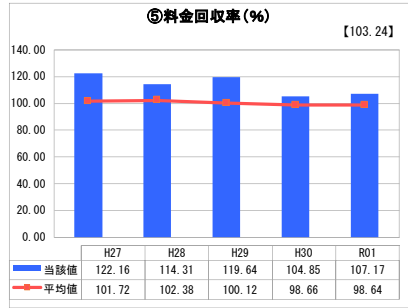
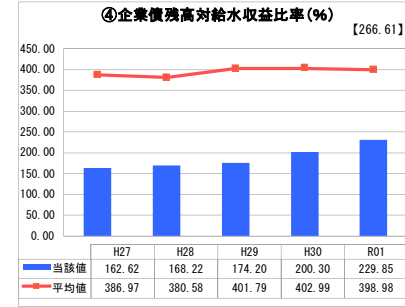
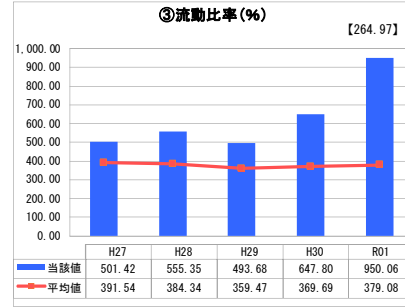
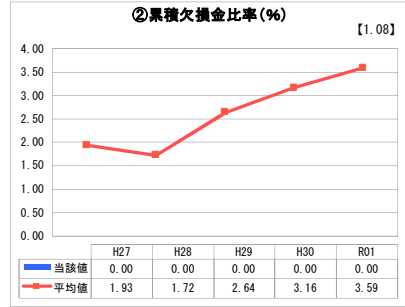
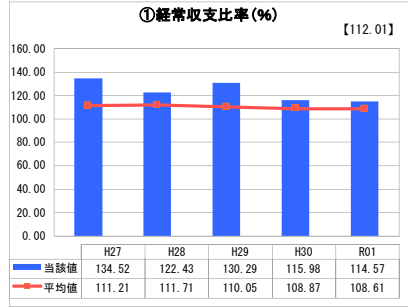
福島県 西郷村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	80.89	96.64	2,640	

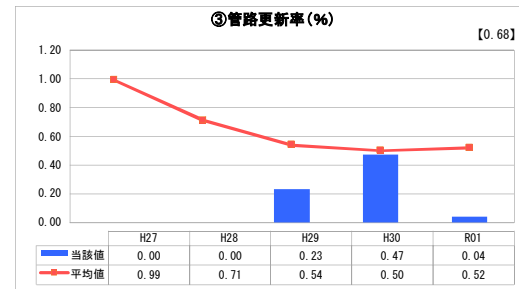
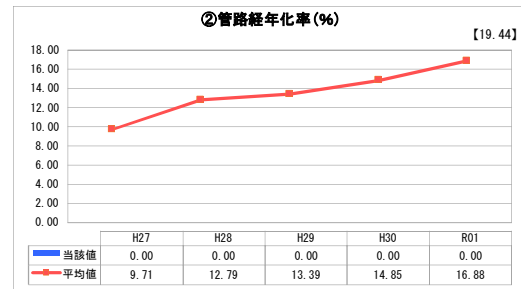
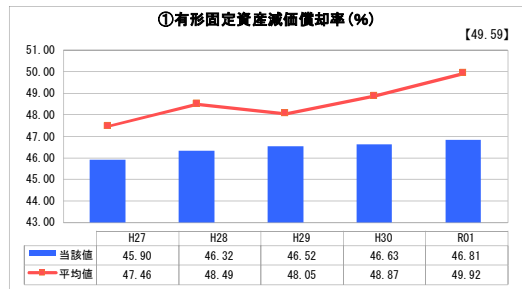
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
20,291	192.06	105.65
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
19,473	66.20	294.15

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び料金回収率は、類似団体を上回っており、また、累積欠損金の発生していない状況から全体的に健全な経営状況にあるといえる。企業債残高については、平成28年度より増加傾向にあるが、これは新たな配水池築造計画に基づく管路等の整備のための借入を行っているためである。また、有収率については、類似団体を下回っており、平成28年度より有収率向上対策を実施している状況である。今後も引き続き有収率向上に努めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は微増傾向にあり資産の老朽化が徐々に進んでいる状況にある。管路経年管は残存していない状況にあるが、更新間近な管路についてはアセットマネジメントの結果を基にした計画的な改良、更新を図っていく必要がある。

### 全体総括

経営の健全化、効率化については概ね良好であると考えられる。また、老朽化については、有形固定資産減価償却率が微増傾向にあることから、優先順位や投資規模等を考慮しつつ、施設の改良、更新を進め、施設の効率性を高めながら、将来の運営体制や投資の在り方について検討していく必要があると考えられる。